

日本共産党と日本の前途を語るつどい(兼地区党学校) 第2回  
歴史＝タテ&世界＝ヨコからみた日本 ～ 日本共産党綱領の話②～

党調布粕江府中地区委員長・衆院東京22区予定候補 平野よしたか

### 1. 第1回のおさらい

- ① 政治をただすために、正しい分析が必要。間違った診断から、正しい処方箋はだせない【党綱領2章】
  - ◇ 「アメリカいいなり」
  - ◇ 「大企業中心」
- ② 自民党政治のたおし方。世の中を変えたい個人・組織・政党が力を合わせる「統一戦線」で、社会主義ではなく民主主義の実現を【党綱領4章】



### 2. 世界をリアルにとらえて、日本の立ち位置を確認する【党綱領3章】

- ① 20世紀をどう見るか①(7節) 3つの巨大な変化
  - 【2段落目】 植民地体制の崩壊
  - 【3段落目】 人権と民主主義の発展
  - 【4段落目】 戦争の違法化
- ② 20世紀をどう見るか②(8節) ソ連をどう見るか  
「社会主義とは無縁な人間抑圧型の社会」
- ③ 21世紀をどう見るか①(9節) 20世紀の3つの変化がさらに前に
  - 【2段落目】 アメリカなど大国思うままでなく、全ての国々が主人公に
  - 【3段落目】 核兵器禁止条約の成立
  - 【4段落目】 平和の地域共同体の発展。東南アジアとラテンアメリカ
  - 【5段落目】 人権を守る国際的ルールの発展、特にジェンダー平等
- ④ 21世紀をどう見るか②(10節) 世界の問題。資本主義の矛盾、アメリカ帝国主義、中国とロシアの大国主義・覇権主義

### 3. 日本の戦前と戦後の歴史をつかむ【綱領1章、2章(4)】

- ① 戦前の日本社会の特徴 (1章)
  - (1節) ①世界の主要な資本主義国の一つ ②立法・司法・行政・軍事を天皇が握る(絶対主義的天皇制) ③農村では重い小作料(半封建的地主制度) ④労働者の無権利と過酷な搾取 ⑤アジアで唯一、他の国に侵略と戦争の道に進む
  - (2・3節) 1922年の共産党の創立と、15年戦争での命がけの反戦平和のたたかい。★党の掲げた方針は、ポツダム宣言と日本国憲法に実った
- ② 戦後のGHQの占領化において 1945～1952
  - (4節) ①アメリカの従属国に(これが現代に続く) ②日本国憲法 ③地

## 主制度の解体

- ③ これらの歴史から、いまの政治をとらえる
  - ◇ あの戦争は正しかったという政治が続いている(安倍晋三氏を先頭に)  
「侵略」の定義ができない日本政府。尖閣、竹島、北方領土全てで弱点
  - ◇ 戦前の天皇制と、戦後の天皇の制度はまったく違う。だから護憲。
  - ◇ 「なぜアメリカいいなりなのか」 GHQの占領での上下関係がそのままだから(これを保障しているのが日米安保条約)

## 4. 資本主義がまずい限り、必ず社会主義の時代がやってくる【綱領5章】

★詳しくは赤旗連載が始まった、志位議長の講演をぜひ

- ① 資本主義をただしたい、まずい点 (綱領3章 10節)
  - 【第1段落】 7つの問題
  - 【第2段落】 そのうち2つが大問題 「貧富の格差」「気候変動」
- ② 資本主義で作られた、良い点 (綱領5章 18節)
  - 【第2段落】 この5つは全部引き継ぐ。資本主義のダメなところを改める
- ③ 社会主義の良い点 (16節)
  - 【第3段落】 労働時間の抜本的短縮。人間的発達、人間の自由を全面に
  - 【第4段落】 資本主義のダメな点をただす。「あとのまつり」をやめ先手を
  - 【第5段落】 経済がさらに発展する
- ④ 社会主義の進め方。ソ連や中国と同じ失敗はしない (16節、17節)
  - ◇ 政治活動は自由。政権交代も認める。
  - ◇ 働いている人を抑圧する官僚専制や、統制経済はとらず、むしろ市場経済を活かす
- ⑤ 補足
  - ◇ 社会主義＝共産主義＝未来社会
  - ◇ 2004年以前は“社会主義は能力に応じて働き、労働に応じて受け取る”“共産主義は能力に応じて働き、必要に応じて受け取る”
  - ◇ この国際共産主義の定説を覆した

## 5. 次回は6/1(土)13:15～ あくろす研修室3 「科学的社会主義」

以上